

蒲の穂が見られる都川の近くをサイクリング

2014/08/03

今回は、都川周辺（大宮町、大宮高校の辺り）にある蒲の原へ行ってきました。都川に並行して東西に走る水路に沿って、歩行者・自転車用の道があります。ウォーキングやサイクリングをする人、お盆を前に葦の茎を切り取って集める人に出会いました。以下はその写真です。順に、実り始めた稲、葦や蒲の原と化した耕作放棄地、蒲の穂、葦の茎を切り取る老婦人、そして木陰もありました。



田んぼには、稲穂を鳥害から守るための鳥脅しの仕掛け。美人の案山子と梟（ふくろう）。



道の左側には蒲や葦が、右側には葛の葉が辺り一面を覆っています。



蒲の穂。フランクフルトソーセージみたいですね（冬になると穂が弾けて穂綿が露出する）。



道端で葦の茎を切り取っている人がいました。お盆のために準備しているのだそうです。



炎天下を走って木陰のあるところへ来るとほっとします。

ルート



【ルート概要】

小倉台公園～縄文の森～小倉大橋で坂月川を渡る～東金街道（国道126号）を横断～房の駅～大宮橋～大宮下長公園～大宮高校～太田橋～東金街道（国道126号）を横断～千葉中央観光農園～小倉台公園

【ルートマップの表示について】

上の地図は千葉都市モノレール小倉台駅に近い小倉台公園を起点・終点とするルートを示しています。

- ・ 地図をクリックすると拡大・縮小可能な地図が表示され、地図の左の欄に距離、所要時間が記されています。
- ・ 拡大・縮小は、地図の左にあるプラス（+）ボタンまたはマイナス（-）ボタンをクリックすることにより行います。

【ご注意】

上記の機能のためには、マイクロソフト社のSilverlightというソフトウェア（ブラウザのプラグイン）をインストールしておく必要があります。

【お願い】

ルートの選定にあたっては、子供連れの家族が走ることを想定して、国道・県道など交通量の多い道路を通行することは極力避けるとともに、そのような道路を横断する場合には信号のある交差点を通るようにしています。しかし、すべてそうであるとは限りませんので、常に安全第一で行動してください。サイクリングによって生じた事故は自己責任でお願いします。

道案内

【起点・終点】

ご案内するルートは小倉台公園を起点・終点としています。

注：小倉台公園の南東の角には水洗トイレがあるので出発前に用を済ませるのに好都合。



起点・終点は「小倉台公園」。小倉台公園の南東の出入り口は階段がないので自転車を乗り入れるのに都合よい（右の写真）。

小倉台公園の南東にある出入り口。このすぐ右手に水洗トイレがある。

【小倉台公園～小倉大橋】

小倉台公園を出発してモノレールの小倉台駅がある交差点を渡り、モノレール沿いに桜木方面へ進む。

左の向うの方には真新しい住宅群が見える。モノレール沿いに進み、すし屋（「千代寿司」）の手前で左折する。

道なりに進み、突き当たりを右へ曲がり、すぐ左へ曲がる（クランク状に進む）。道の右には、竹藪・林・人家があり、左側には人家が並ぶ。

小倉町のこの辺りは「縄文の森」と呼ばれる。この道（車が通る一般道）は、なだらかな下り坂であり、快速なサイクリングが楽しめる。

注意：道はカーブして見通しがきかないので、スピードは控えめにして、道の左端に行くように。

「小桜橋通り」（千葉中央メディカル病院の前の広い通り）の下のトンネルを通り抜けるとすぐ三叉路がある。

注意：三叉路の道は、かつてこの地域の主な道路であった。左は坂道であり、そこを車が勢いよく下ってくることがあるので、必ずいったん停止して安全を確認。

三叉路を直進すると、間もなく右に折れる三叉路があるので、そこを右折して橋（坂月川に架かる小倉大橋）を渡る。

【小倉大橋～房の駅】

小倉大橋を渡り終えたら左折して、坂月川の土手の道に行く。歩行者・二輪車・農耕車両用の道である。

土手の道は平坦と思いきや、極端な上り下りがある酷い道なので、十分に注意して走る。

注意：急坂の途中で止まるとバランスを崩して転倒しやすいので、無理をせず潔く自転車から降りて歩くとよい。

土手の道をしばらく進むと広い道に出るので、そこを右折する。

道なりに進むと、やがて東金街道（国道126号）に出る。

歩行者用の信号機がある。ボタンを押すとすぐ変わる所以、必ず信号を利用して横断する。

東金街道（国道126号）を横断したら、道なりに裏道を進む。再び東金街道（国道126号）に出る。

東金街道（国道126号）の左側の歩道を西（千葉方面）へ向かって進む。

すぐ左手に「房の駅」がある。「房の駅」のパン工房にはカフェがあり朝7時から営業している。

【房の駅～大宮橋】



小倉大橋から上流（加曾利貝塚方向）は護岸工事ために通行止め。



国道126号沿いにある「房の駅」パン工房のカフェは朝7時から営業。

「房の駅」の先の歩道は極端に狭いので、危険と感じたら、自転車を降りて歩いて行く。

左にある最初の路地を入り、道なりに進み、T字路に突き当たったら左折する。間もなく大宮橋に至る。

大宮大橋を渡って進み、五差路まで来たらそこを左折する。そこからは歩行者・自転車ための道である。



太田橋。タイル敷きで広い歩道。



五差路に来たら左折して歩行者・自転車用の道に入る。

【歩行者・自転車専用道路】

歩行者・自転車専用道路を行く。ここから先は、冒頭にある写真のような光景が見られる。

左手の水田には鳥害から稲穂を守る仕掛けが見える。

さらに進むと、右手には、大宮下長公園、大宮高校が見える。

左手には、葦の原、蒲の原が広がる。やがて木陰のある道に至る。

木陰を過ぎ、左手に鉄板の塀が見える。その先で広い道にぶつかる。

【太田橋～千葉中央観光農園】

広い道を左折し、橋（太田橋）を渡り、カーブする道を道なりに進むと東金街道（国道126号）に出る。



歩行者・自転車用道路の右手にある大宮下長公園。



ネットの向こうに見えるのは大宮高校の校舎。

信号に従って東金街道を横断し、細い道（車がやっと一台通れる）を道なりに進む。

道を右へ左へとクランク状に曲がって進む。やがてT字路に突き当たったら右折する。

道は左へカーブすると間もなく三叉路に差し掛かる。そこを左折する。

ややきつい上り坂を上りきると道は右に折れ、緩い上り坂が続く。

左手にキウイフルーツの棚を見ながら進むとすぐに住宅街に差し掛かる。

住宅の間にある細道を左に入り、住宅街を通り抜けると、突き当りのさらに細い道を右折し、すぐに左折する。

両側が畑の道の向こうには、道沿いの高い生垣で隔てられた果樹園が見える。千葉中央観光農園である。

【千葉中央観光農園～小倉台公園】

高い生垣に沿って進むと、T字路に突き当たるので、そこを右折すると、そこは千葉中央観光農園の表である。

千葉中央観光農園の前の道を進み、T字路に突き当たったら左折すると間もなくT字路に突き当たる。

注：突き当りの道は、今は裏通りではあるが、小桜橋通りが開通するまでは、千葉市街と千城台を結ぶ主な通り道であった。

余談：その当時、千葉駅からタクシーで千城台に向かう時に、運転手から「お客さん、ぶどう園廻りでいいですか？」を念を押されたものだ。その「ぶどう園」とは、この「千葉中央観光農園」のこと。

突き当りを左折したらすぐ右折して（クランク状に）進むと、小桜橋通りの交差点に出る。ここは車が多いので、必ず押しボタン信号を利用して、信号に従って横断する。幸いにも、この信号は、ボタンを押せば、電光石火のように、すぐに変わってくれる。

小桜通りを横断して、細道をしばらく進むと、やがて道は左にカーブするので道なりに進み、畳屋さんの先を右折する。

その先は、行く時に通った道であり、しばらく行くとモノレール通りに出る。そこを右折し、小倉台駅の交差点を左折して少し行くと右に小倉台公園がある。



ややきつい坂を上ると、左手には稲荷神社東口参道がある。



住宅街を通り抜けると高い生垣で隔てられた、千葉中央観光農園の果樹園が見える。